

## 理工系3学部

(基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部)の新設が決定!



後楽園キャンパスを中心としたエリアで走行中のラッピングバス

高度な能力を持った付加価値の高い理工系人材を求めている社会の要請に応えるべく、2026年4月に理工学部を再編し、理工系3学部（基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部）を新設します。

11月には秋葉原駅や新宿駅で、2026年1月には首都圏を中心とした19の駅でキービジュアルを使用した広告を掲載。2025年11月から2026年4月まで後楽園キャンパスを中心としたエリアでラッピングバスが走行中です。

中央大学は2026年4月から、10学部・大学院8研究科・専門職大学院2研究科を擁する総合大学となります。



理工新3学部  
特設サイト



秋葉原駅に掲載の広告

# Chuo Vision 2025

## 中央大学理工学部、未来へ進化 — 3学部の新設と新拠点で次代の研究教育へ —



新1号館 理工学の  
未来を拓く拠点として始動



理工学部のある後楽園キャンパスは、110以上の研究室や大型実験・研究設備が充実した中央大学の教育研究活動の拠点です。

2025年4月、1号館を建て替え、供用を開始しました。新たな1号館では、外装は理工学部らしい機能性と後楽園の歴史の積み重ねを表現するとともに周辺の自然環境への連続性を保たせ、内装は中央の吹抜け、トップライトからの光を最大限活かし、世界へ開かれる発展のイメージをもたせました。多様かつ最先端の実験や研究に柔軟に対応できる施設となり、教員や学生の相互交流や研究の活性化を促すようなスペースも備えています。

市ヶ谷田町キャンパス、茗荷谷キャンパスとの有機的連携による、教育研究活動の文理融合のさらなる推進にどうぞご期待ください。

## 「スポーツ情報学部(仮称)」「情報農学部(仮称)」の2学部を 多摩キャンパスに新設予定(設置構想中)



データサイエンスで  
世界はもっと躍動する

スポーツ情報学部(仮称)  
＜2027年4月開設予定(設置構想中)＞



テクノロジーで  
未来はもっと、耕せる。

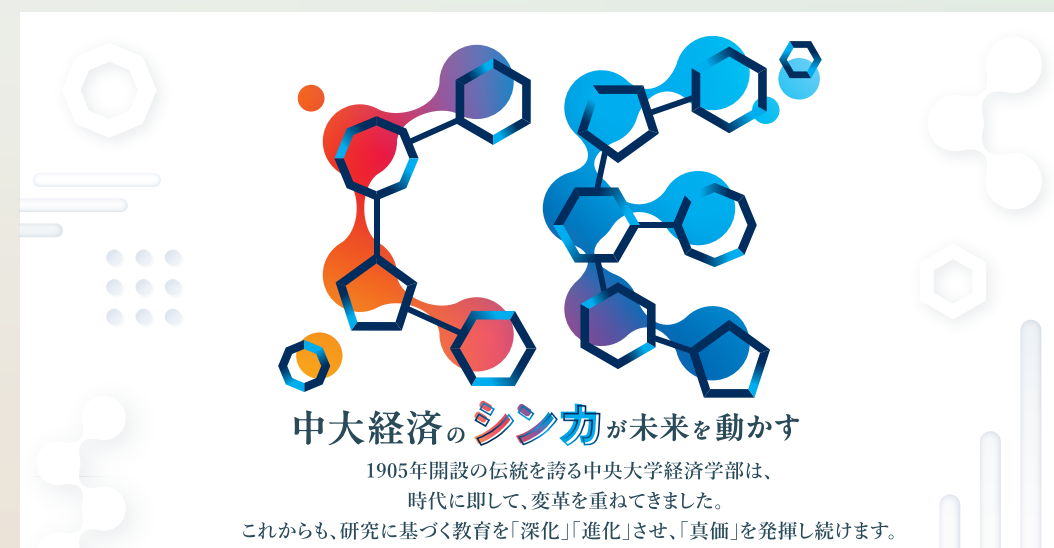
情報農学部(仮称)  
＜2027年4月開設予定(設置構想中)＞



新学部  
Webページ

次世代を拓く「行動する知性」を備えた人材養成、すなわちSociety5.0の時代に活躍できる知性と行動力を備えた人材養成を目指し、多摩キャンパスの立地特性を背景とした「スポーツ情報学部(仮称)」および「情報農学部(仮称)」の開設を予定しています。

## 新・中央大学経済学部、始動。 2027年4月より、2学科4コースへ(設置構想中)



中大経済のシンカが未来を動かす

1905年開設の伝統を誇る中央大学経済学部は、時代に即して、変革を重ねてきました。これからも、研究に基づく教育を「深化」「進化」させ、「真価」を発揮し続けます。



経済学部  
学科再編  
特設サイト

現代の複雑な社会課題に対応できる人材の育成は社会的要請であり、それに応えるため経済学部は現行の4学科（経済学科、経済情報システム学科、国際経済学科、公共・環境経済学科）を、経済学科と社会経済学科の2学科に再編します。新設の2学科では、経済学の体系に基づく2つの系統的カリキュラムにより、高度な専門知識の修得を図ります。



## 都心3学部共同開講科目「学際最前線」がスタート

3年次以上を対象に、都心キャンパスにある法学部・理工学部・国際情報学部の3学部が共同で「学際最前線」という文理融合型の科目を新たに開講しました。本科目は、2023年度に新規開講した「学問最前線」の発展的科目として位置づけられており、グループごとに討論・発表等を行う演習形式で行われます。また、3日間連続で1日ずつ3学部全てのキャンパスを使用するという新しい試みを取り入れ、受講者からは好評を博しています。本科目が都心キャンパス間の更なる交流促進や学生の知的好奇心を喚起するきっかけになることを期待しています。



## Chuo Global-X（実現可能性を重視した多面的な国際化の展開）を推進



2025年8月4日に開催された「第3回中大アントレキャンプ」ワークショップの様子

社会のグローバル化が急速に進み、地球規模の課題が複雑化する中、少子高齢化が進行する我が国において、人類の福祉に貢献する人材を育成するという創立以来の使命を掲げる本学は、いま新たな国際化のステージへと歩みを進めています。

2024年6月10日に開催された国際連携推進会議において、本学は「Chuo Global-X（実現可能性を重視した多面的な国際化の展開）」を策定し、国際教育とアントレプレナーシップ教育の融合による次世代型グローバル人材育成を本格的に推進しています。2035年を見据える「Chuo Global-X」は、次期中長期事業計画のグローバル人材育成の柱として、多様性を尊重する多文化共生社会の実現を目指し、ダイバーシティ&インクルージョン教育を推進するとともに、新たな価値創造に挑戦する人材を育成するために、グローバルな課題を自ら発見し、解決へ挑む力を育むグローバル・アントレプレナーシップ教育を推進、全学的に拡大・深化しています。

2025年度には、国外留学・外国人留学生奨学金制度の戦略的見直しを進めるとともに、学生交換協定校を約20校増加し、世界を舞台に活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

## 2年目を迎えたJST「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」

2024年度に「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」に採択され、2年目を迎えました。

SPRINGは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が大学院博士後期課程学生を支援する事業で、本学は、「イノベーションの展開に貢献する人材養成の博士後期課程プログラム（D-CPRA：Chuo Promotion for Research Activities in Doctoral Courses）」が採択されています。

1年目の2024年度は、14名（法2名・経済1名・商1名・理工7名・文3名）を本プログラムの支援学生に選抜しました。唯一の3年生であった理工1名は、無事博士課程を修了し、民間企業に就職しました。また、理工1年生と文2年生の2名は、日本学術振興会の特別研究員に採用されました（修了者および特別研究員採用者の空いた枠に、新規の応募ができます）。

2025年度は、新規に8名（理工6名・文2名）を選抜し、現在19名が本プログラムの支援学生となっています。

本学では、SPRINGを契機に、今後も博士前期課程も含めた大学院改革に邁進し、更なる研究力向上を進める所存です。

### イノベーションの展開に貢献する人材養成の博士後期課程プログラム Chuo Promotion for Research Activities in Doctoral Courses(D-CPRA)

常に十年から数十年先の社会と課題を展望し、社会のあるべき姿に向けて自身の研究成果を社会に導入し、人々の生活に根付かせるイノベーションを担う人材を輩出する



## 中央大学と附属学校の教育連携プログラム



中学3年生「なぜ大学で学ぶの？」(附属横浜中学校)



高校1年生「中央大学を知ろう！」(多摩キャンパス)

ChuoVision2025の重点事業計画の1つである「総合学園」計画に基づき、「中央大学と附属学校の教育連携プログラム」を推進しています。これは、大学と附属学校（中学2校、高校4校）が有機的な連携の下で、中学・高校全学年にまたがる体系的な教育連携プログラムを実行することにより、附属学校の生徒が本学の「基幹学生」として、学修の場をリードする存在に成長することを期待するものです。

### 2024年度 共通講座（全学実施プログラム）

- 「ようこそ！中央大学へ」（中学1年生）
- 「働くってどんなこと？」（中学2年生）
- 「なぜ大学で学ぶの？」（中学3年生）
- 「中央大学を知ろう！」（高校1年生）
- 大学院連携講座「法ってなに？法律家の仕事を通じて知ろう」（高校1年生）
- 「学部選択セミナー」（高校2・3年生）
- 高大接続先行履修制度「AI・データサイエンスと現代社会」（高校2・3年生）
- 「国際センター外国語講座」（高校1～3年生）
- 「保護者向けキャンパス見学会（多摩キャンパス）」（中学・高校の保護者）